

## 特定小電力トランシーバー

## FTH-314/-314L

## 取扱説明書

総務省技術基準適合品

免許不要

単3形電池 1本動作

47チャンネル

交換用通信 20 チャンネル

中継用通信 27 チャンネル

防水構造

耐塵防噴流形 IP65

耐塵防浸形 IP67

完全防水ではありませんので、水中での使用はできません。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書よくお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

このトランシーバーは、国内専用モデルです。

海外では使用できません。

販売元：八重洲無線株式会社 国内営業部

開発製造：バーテックススタンダード LMR 合同会社

© 2017 バーテックススタンダード LMR 合同会社  
無断転載・複写を禁ず  
Printed in Philippines

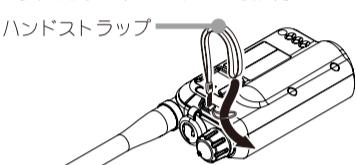
## 付属品

ご使用になる前に付属品をご確認ください。

・取扱説明書（本書）  
・安全上のご注意／保証書

## ハンドストラップの取り付け

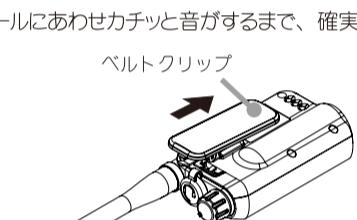
ハンドストラップは必要に応じて下記のように取り付けてください。



補足 丈夫な市販のハンドストラップを使用してください。

## ベルトクリップの取り付け

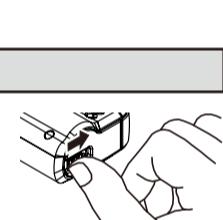
ベルトクリップをレールにあわせカチッと音がするまで、確実にスライドします。



補足 ベルトクリップを外すときは、指を使わずドライバー等でロングネジを上げながらラスタードレードで外します。指を使うと爪を傷めてしまう原因になります。

## 電池の入れかた

① ロックリバースを矢印方向にスライドし、ロックを解除してフタを開けます。



② オプションのニッケル水素電池（FNB-135）または市販の単3形アルカリ乾電池をマイナス（-）から入れます。電池の極性（+）（-）を注意してください。

防水パッキン

③ フタを「カチッ」と音がするまで確実に押し込みロックします。

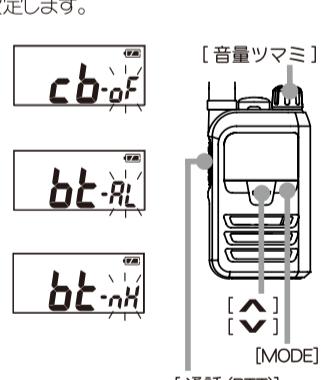


注意 防水性能を維持するため、フタをロックする前に防水パッキンのキズ、劣化、外れ、汚れ等がないことを確認してください。

## バッテリーインジケーターの設定

初期値は市販のアルカリ乾電池を使用する「AL」に設定されていますが、オプションのFNB-135を使用する場合は「Nh」に設定します。

- ① [音量ツマミ] を左にまわしきり電源を切ります。
- ② [MODE] を押しながら [音量ツマミ] を右にまわし、電源を入れます。  
セットメニューの「cb-xx」が表示されます。
- ③ [MODE] を押して、「bt-xx」を選択します。
- ④ [▲] または [▼] を押して、使用する電池を選択します。  
アルカリ乾電池の場合：「AL」  
FNB-135の場合：「Nh」
- ⑤ [通話 (PTT)] を押します。  
設定を確定し、セットメニューを終了します。



## 電池の使用時間と注意事項

## 電池の持続時間を延ばすには

使用できる時間の目安は次のとおりです。またスマートセーブ機能（セットメニュー「bs-xx」参照）を使用すると、さらに電池の持続時間を延ばすことができます。

電池の種類	スマートセーブ機能 OFF	スマートセーブ機能 ON
単3形アルカリ乾電池（日本製の場合）	約30時間	約33時間
ニッケル水素電池（FNB-135）	約33時間	約36時間

電池残量アイコン表示	
まだ使えます。	まだ使えます。
少しになりました。	少しになりました。
残り少くです。	残り少くです。
電池を交換してください。（FNB-135はすぐに充電してください）。	電池を交換してください。（FNB-135はすぐに充電してください）。

補足 ○ 10秒受信、80秒待ち受けの制限条件になります。上記の使用時間は自宅での、実際に使用する時間は、使い方や周囲の温度などによって異なります。

○ スマートセーブ機能を使用すると、受信中切れが起こることがあります。

○ 初めて使用するときは、必ず充電してください。

○ 充電の方法は、「急速充電器セット VAC-68」の取扱説明書をご覧ください。

○ 充放電を繰り返すと使用時間が徐々に短くなります。

○ 長期間保管した場合は電池容量が低下していることがあります。必ず充電してから使用してください。

○ フォンのニッケル水素電池（FNB-135）について

○ 当社指定以外の充電器やACアダプターを使用しないでください。火災や故障の原因になります。

○ 電池を交換するときは、電池を切ってください。

○ ニッケル水素電池（FNB-135）または市販の単3形アルカリ乾電池以外の電池は絶対に使用しないでください。故障や火災の原因になります。

○ フォンのニッケル水素電池（FNB-135）について

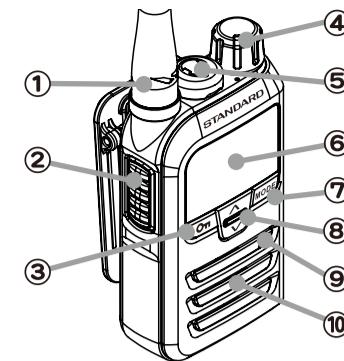
○ 当社指定以外の充電器やACアダプターを使用しないでください。火災や故障の原因になります。

○ 充電の方法は、「急速充電器セット VAC-68」の取扱説明書をご覧ください。

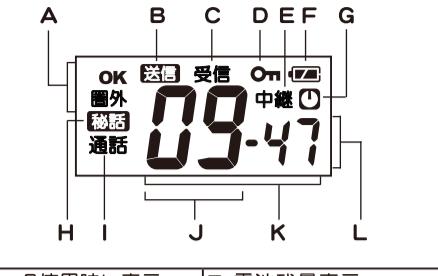
○ 充放電を繰り返すと使用時間が徐々に短くなります。

○ 長期間保管した場合は電池容量が低下していることがあります。必ず充電してから使用してください。

## 各部の名前と機能



## ⑥ ディスプレイ



A. コールバック使用時に表示	F. 電池残量表示
OK … 通話可能	G. オートパワーサーブ表示
■ … 通話不可	オートパワーサーブをONになると表示
B. 送信時に表示	H. 秘話モード時に表示
C. 受信時に表示	I. 通話中表示
D. ロック表示	J. チャンネル番号表示
E. ロックチャネル表示	K. セットメニューの表示
中継チャネル表示	L. グループコード表示

## ⑦ MODEキー

押すたびに通話モードが切り替わります。

## ⑧ ▲ (アップ) / ▼ (ダウン) キー

押すたびにチャンネルがアップ / ダウンします。

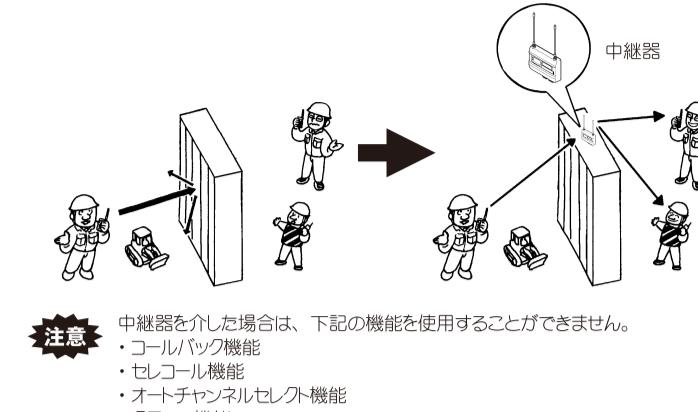
## ⑨ マイク

## ⑩ スピーカー

## 中継機能 ~通話距離をのばすには~

途中にビルなどの障害物がある場合や、相手との距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、当社対応の中継器を中間点に設置することにより、交信範囲が広がります。

なお中継器の詳細については、お問い合わせいただきました販売店または八重洲無線株式会社国内営業部にお問い合わせください。



## 注意 中継器を介した場合は、下記の機能を使用することができます。

- ・コールバック機能
- ・セコール機能
- ・オートチャンネルセレクト機能
- ・クローン機能

## 中継機能を設定する

下記の操作を行うと、中継機能用のチャンネル（合計27チャンネル）が追加されます。

① [音量ツマミ] を左にまわしきり、電源を切ります。

② [▲] を押しながら [音量ツマミ] を右にまわし、電源を入れます。

③ [▲] または [▼] を押すたびに、チャンネル番号が変わります。

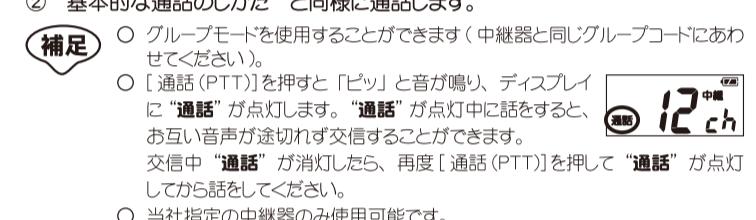


## ■ 設定を解除する

- ① [音量ツマミ] を左にまわしきり電源を切ります。
- ② [▲] を押しながら音量ツマミを右にまわし、電源を入れます。

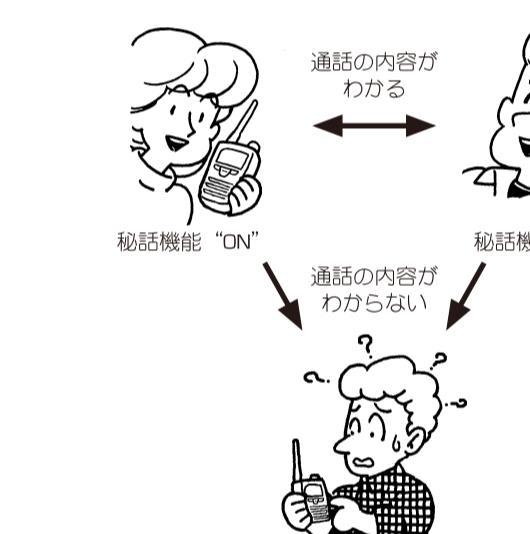
## 通話のしかた

- ① [▲] または [▼] を押して、中継用チャンネルの中で中継器と同じチャンネル番号に合わせます。
- ② “基本的に通話のしかた”と同様に通話します。



## 秘話モード

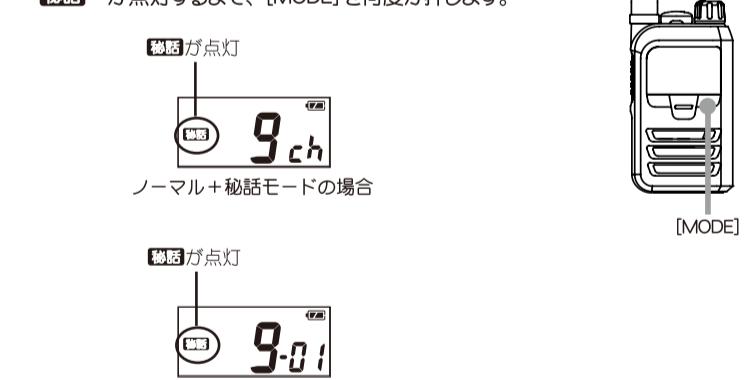
秘話モードに設定していない人は、通話内容を聞き取れなくなります。秘話モードは、ノーマルモード、グループモードのどちらでも使用することができます。



- 仲間同士以外でも、同じチャンネルで秘話機能を動作させていれば、通話内容を聞く場合がありますので、重要な内容の交信は控えるようしてください。
- 秘話機能付トランシーバーでも、機種が違うと、交信できない場合があります。
- FTH-314/-314L以外のトランシーバーと通話をすると、音色が異なる場合があります。

## 秘話モードに切り替える

“秘話”が点灯するまで、[MODE] を何度も押します。



## 通話のしかた

“基本的に通話のしかた”と同様に行います。

## キーをロックする

誤ってキー ([▲], [▼], [MODE]) に触れても設定が変わらない、さらにディスプレイの表示をしない設定にすることができます。

※ 電池残量アイコンは表示されます。

○ 電池残量アイコンは表示されます。

○ 電池残量アイコンは表示されません。

## セットメニューで行う機能

### セットメニューの一覧表

表示	項目	設定値*	参照
cb-xxx	コールバック機能 「ON」に設定すると、グループモード時にコールバック機能を使用する。音声をカットする範囲にいるか、または「電源を切っていないか」を確認する。電話で「音声を切った」といふ場合は、電話がつながります。	OFF/ON	A
Sc-xxx	スキャン機能 「ALL」に設定すると、自動でチャンネルを切り替える。信号がなくなると、約10秒後に再びスキャンを開始します。	OFF/ALL	B
bP-xxx	ビープ音のON/OFF キーを押すときに、確認音として電子音が鳴ります。音量を調整できます。「ON」に設定すると、「T」でビープ音の音量を調整することができます。	ON/OFF	-
tB-xxx	送信ビープ音のON/OFF 「ON」に設定すると、電話(PTT)を押すと送信を始めた際に電子音が鳴り、送信時間がたつと音を停止し、信号がなくなると、「OFF」に設定するまで「OK」が点滅します。	OFF/ON	-
tt-xxx	送信ビープ音の音量調整 音量と「P1」と「P2」のビープ音を連動で音量ツマミにて調整します。1~15に設定すると音量ツマミに関係なく設定された音量でビープが鳴ります。数字が大きくなるほど音量が大きくなります。	df/1~15	-
LP-xxx	照明ランプの設定 キーを押すと、約2秒間ディスプレイの照明が点滅します。「OFF」に設定すると、照明は常時消灯します。	2/Off	-
AP-xxx	オートワーカーの設定 「ON」に設定するとディスプレイに「G」が点灯し、2時間も操作しないと電池の切れ忘れとしない、自動的に電源をOFFにします。「前回」で「プリ」と表示され、電源が切れます。	OFF/ON	-
cS-xxx	コールサイン機能 中間同士で違う番号のルールサインを設定してあとと、電子音の回数で誰かが呼ばれたのかコールサインとして判別することができます。	1~5	C
EG-xxx	外部マイク感度の設定 内部マイク感度を調整します。数字が大きくなるほど感度は上がります。「AL」は音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。	1/2/3/AU	D
IG-xxx	内部マイク感度の設定 内部マイク感度を調整します。数字が大きくなるほど感度は上がります。「AL」は音声の大小に応じて自動で適切な感度を調整します。	1/2/3/AU	D
cp-xxx	コールセンター機能 「ON」に設定すると、相手が話しているときに聞こえる「サー」と「アッパー」を廻し、相手の音を聞き取らせてください。 <b>補足</b> 相手が「ラシーバー」も、コールセンター機能をONに設定してください。	OFF/ON	-
tP-xxx	送信禁止機能 「ON」に設定すると、「通話(PTT)」を押しても「ブーム...」と警報音が鳴り、「Err」と表示されて送信できません。受信専用に使用するときに設定します。	OFF/ON	-
Ph-xxx	PTTホールド機能 「通話(PTT)」を押している間送信し、放すと待ち受けの状態になります。「ON」に設定すると、一度押すと連続送信状態(最大3分間)となり、もう一度押すと待ち受けの状態に戻る。ホールド機能付きPTTスイッチとして動作します。(外部マイクの「通話(PTT)」では、この機能は動作しません)。 <b>補足</b> 通常はPTTホールド機能をOFFにしてください。	OFF/ON	E
oc-xxx	VOX機能のON/OFF 「ON」に設定すると「G」と「AL」の項目が追加されます。	OFF/ON	F
OL-xxx	VOX感度の設定 数字が大きくなるほど送信状態になるときの感度が上がります。	1~9~15	F
or-xxx	VOX連続時間の設定 電話をやめたら待ち受け状態に戻るまでの時間を設定します。	1~5~15 (0.1秒間隔)	F
Ac-xxx	オートチャンネルセレクト機能 誰も使っていないチャンネルを自動で探し出し、相手局と交信することができます。	OFF/ON	G
hE-xxx	音質切替機能 高域カット機能を好みのまま調整した音質で受信します。相手が「アッパー」の多い場所などで運用しているときに効果があります。「ON」に設定すると、高域が効いたメリリの音質で受信します。	1/2	-
Sq-xxx	スクローリング機能 信号が入ったときに、耳障りな「ザーッ」と音を減らすことができます。数字が大きいほどレベルが高くなります。 <b>補足</b> フルスケールで上書きするときは消えやすくなります。また、電波を弱く感じるときにありますので、必要に応じて調節してください。	1~4	-
EP-xxx	オートイコライザーセット機能 「ON」に設定すると、スピーカーアンプやマイクアンプのスピーカー(またはイヤホン)が断線したときに、店舗用としてお手持ちのスマートホン用イヤホンを使用することができます。通話する場合は、スマートホンのマイクでPTTスイッチを押して送信してください。 <b>注意</b> 全てのイヤホンを使用できる保証はありません。あくまでも应急用ですので、弊社オプションのご使用を推奨します。	1/2	-
SP-xxx	イボホーリング機能 接続しているオプションのスピーカーマイクやマイクアンプのスピーカー(またはイヤホン)が断線したときに、店舗用としてお手持ちのスマートホン用イヤホンを使用することができます。通話する場合は、スマートホンのマイクでPTTスイッチを押して送信してください。	OFF/ON	-
SL-xxx	セコールの呼び出し設定 セコール機能を使用するときは「ON」に設定します。	OFF/ON	H
Si-xxx	セコールのID設定 個別呼出し用のIDを設定します。	01~99	H
SG-xxx	セコールのグループ設定 グループ呼出し用のIDを設定します。	GO~G9	H
Sb-xxx	セコールの着信音設定 着信音のビープを設定します。	OFF/1~3	H
PS-xxx	ファラシチボルームの設定 「ON」に設定すると、音量ツマミをまわさずに「ON」キーを短押しすることでファラシチボ音量を一時的に下げるることができます。再度押すと戻されます。	OFF/ON	I
bS-xxx	スーパー機能の設定 「ON」に設定すると、待ち受け状態で約2秒間キー操作がないと電池のバッテリーの消耗を防ぐ動作します。信号を受信時またはキー操作を行うとバッテリーは解除されます。	OFF/ON	表面
bt-xxx	ハイテレージマスターの設定 「ON」に設定すると、市販のアルカリ乾電池を使用する「AL」に設定されています。「オフ」(またはFN-B135)を使用する場合は「AL」に設定します。	AL/nH	表面
hd-xxx	キーロックディスプレイ表示設定 「ON」に設定すると、ロックキーを押すときに、キーロックと共にディスプレイが表示されます。	OFF/ON	表面
cl-xxx	クローン機能 送り側に設定してある内容をワイヤレスで複数台一斉にコピーすることができます。	OFF/ON	J

\*: 設定値ディスプレイ表示「OFF」→「OF」、「ON」→「on」、「ALL」→「AL」

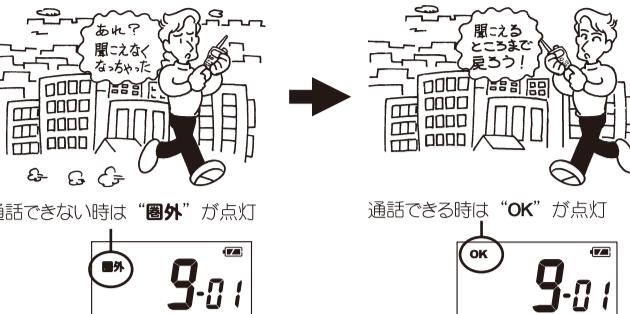
### セットメニューの操作

各セットメニューの設定を変更するときは次の手順で行います。

- [音量ツマミ]を左にまわし、電源を切ります。
- [MODE]を押しながら[音量ツマミ]を右にまわし、電源を入れます。セトメニューの「cb-xx」が表示されます。
- [MODE]を押すとひびき、セトメニューの項目が切り替わります。設定したいメニューを選択します。例：「Sc-xx」を選択。
- [▲]または[▼]を押して、点滅している設定値を選択します。
- [通話(PTT)]を押します。設定を確定し、セトメニューを終了します。
- 補足** [通話(PTT)]以外に電源を切っても、設定を確定してセトメニューを終了することができます。

### A : コールバック機能 (cb-xx) ~通話可能か常時チェックしたい~

グループモード時に、コールバック機能を使用すると、「通話できる範囲にいるか」または「電源を切っていないか」、電子音とアイコンで常時チェックしながら通話ができます。



状況	電子音	アイコン表示
通話可能	相手と通信できる範囲にいる約1分間に一度だけ	電子音が鳴った後「OK」が点灯する
通話不可能	相手と電源が入っている	「OK」が点灯する
通話不可能	相手と通信できない場所にいる約1分後に一度だけ	電子音が鳴った後「窗外」が点灯する

### B : スキャン機能 (Sc-xx) ~受信信号を探す~

自動でチャンネルを切り替えて信号を探す機能です。信号を受信するとスキャンが一時的に停止し、信号がなくなると、約10秒後に再びスキャンを開始します。

スキャン機能を使用する場合は、あらかじめ下記のセトメニュー(Sc)で「AL」を設定します。

of(初期値)	スキャン機能をOFFにします。
AL	全チャンネルをスキャンします。

### C : コールサイン機能の設定と使用方法 (cS-xx) ~相手をコールサインで呼び出したい~

本機にコールサインを設定することができます。

最大5局まで設定することができます。初期値は1に設定されています。

仲間同士で違う番号のルールサインを設定してあとと、自局に設定した電子音のコールサインが相手局に送出され、誰かが呼ばれたか電子音の回数でコールサインとして判断することができます。

数字と「G」または「V」を約1秒以上押します。

チャンネルをスキャンすることができます。

**補足** スキャンを開始したチャンネルからキヤウします。

中継機能用チャンネルが追加された場合、中継機能用チャンネルからキヤウを開始するよう設定することができます。

セコール機能が対応していないトランシーバーで同じチャンネルで呼び出します。

電波の誤りの際やノイズの多いところでは、セコール機能が動作しない場合があります。

FTH-307/308/508等と個別呼び出しを行なう場合は、1~20までのIDを設定してください。

セコール機能は下記の機能と同時に使用することはできません。セコール機能が優先されます。

・コールバック機能・VOX機能・オートチャンネルセレクト機能

・コール機能・スキャン機能

セコール機能が動作中は、着信音を知らせることができます。

個別とグループを呼び出されたときは、着信音を知らせることができます。

①個別呼び出し (01~99)  
01~99から選択した相手局のみ呼び出することができます。

②グループ呼び出し (G0~G9)  
0~9から選択したグループのみ呼び出することができます。

③全局一齊呼び出し (ALL)  
全局で呼び出することができます。

個別とグループを呼び出されたときは、着信音を知らせることができます。

個別呼び出し方法を選択します。

個別で呼び出す・・・呼び出したい相手局のセコールID (Sc 01~ Sc 99) を選択します。

グループで呼び出す・・・呼び出したいグループ (Sc G0~ Sc G9) を選択します。

全局を呼び出す・・・Sc ALを選択します。

④上記のいずれかが表示されている時に、「通話(PTT)」を押しながら相手局を呼び出します。

セレコードは3種類の呼び出しができます。

①チャンネルスイッチをまわして、相手局と同じチャンネルにあわせます。

②[MODE]を押しながら[V]を押します。

ディスプレイで「SCAL」が点滅し、セレコード選択画面になります。

③[▲]または[▼]で呼び出し方法を選択します。

個別で呼び出す・・・呼び出したい相手局のセコールID (Sc 01~ Sc 99) を選択します。

グループで呼び出す・・・呼び出したいグループ (Sc G0~ Sc G9) を選択します。

全局を呼び出す・・・Sc ALを選択します。

⑤上記のいずれかが表示されている時に、「通話(PTT)」を押しながら相手局を呼び出します。

セレコード着信時にディスプレイで着信を知らせることで、セトメニューSb-xxの設定により着信音を知らせることができます。

■セレコード着信音を設定する (Sb-xx)

選択時に着信音が鳴る確認しながら設定することができます。

of(初期値)	着信音をOFFにします。
1	ピープ:パターン1
2	ピープ:パターン2
3	ピープ:連続

### D : マイク感度の設定 (EG-xx / IG-xx) ~外部マイクの感動を設定する~

外部マイクの感度を設定します。

最大5段階で設定することができます。

</div